



実 員  
田原 議 員

糸魚川市地域防災計画等  
について

糸魚川市地域防災計画等  
について

受入れを見据えた都市交流  
について

市長答弁

質 問  
次の点について伺う。  
・地震災害への対応、建物の耐震化などについて  
・防災都市協定、災害時避難

市長答弁  
地震災害の対応については、公共施設やライフラインの耐震化など計画的な整備に努めているところであり、また、一般の建築物についても、助成等に



慶一 員  
吉川 議 員

最終処分場について

一般廃棄物  
最終処分場について

質 問

現在進められている一般廃棄物最終処分場の適正化事業の工事スケジュールや、埋め立てられた廃棄物の掘り起

し計画について伺う。また、地元住民に工事計画や今後の進行等の説明を行う予定は。

市長答弁

大野地内の一般廃棄物最終処分場の適正化事業は、来年度に予定されている浸出水処理施設整備工事をもって事業

より耐震化の促進に取り組んでいるところである。

防災面での都市協定や災害時の避難受入れ等を見据えた都市交流については、長野県塩尻市や周辺市町村とは既に協定を締結しているが、ジオパークネットワークのつながりを活かした連携についても検討を進めているところである。

糸魚川の歴史・文化の  
教育活用、観光活用等について

質 問

観光素材としての糸魚川の

完了の予定である。また、現在、地元の方からも参画いただいている「糸魚川市ごみ処理基本構想検討委員会」において、掘り起こし再生事業を含めた調査検討を進めており、審議結果を踏まえながら、年内には地元で説明を行いたいと考えている。

総合防災訓練の結果と  
ドクターヘリについて

質 問

6月23日に実施された総合防災訓練の課題について伺

歴史・文化的価値の形成やその活用について伺う。

市長答弁

ヒスイ文化をはじめ、奴奈川姫の伝説、相馬御風、糸魚川静岡構造線を境界とした東西文化の境目であること等、他の地域にはない当市の特色を観光資源として活用しているところであるが、今後も関係者と連携しながら地域資源の掘り起こしと周知に努め、さまざまな場面で活用していきたい。また、歴史・文化・伝統等の体験学習の可能な環境が整っていることは当市の強みと考

う。

また、市内で高度医療がで  
きず、他の医療機関への搬送等に新潟県のドクターヘリが必要となる場合もあると思うが、県ドクターヘリの現状と課題について伺う。

市長答弁

今回の訓練では無線の混信、情報の錯綜など、情報伝達に課題があったが、今後、対策の検討を進めていく。また、訓練後のアンケートで避難路の段差解消や広場の整地などの要望をいただいております。地元地区と協議を進めていきたい。

えており、今後も、ジオパーク活動を通じ、歴史・文化を活用していきたいと考えている。



バタバタ茶の振る舞い茶会(10月2日 史跡・相馬御風宅)

県のドクターヘリについては、新潟大学総合病院を基地病院として昨年10月に運用が開始され、現在1日に約1回のペースで稼働しているが、当市までヘリの到着に時間がかかるため、課題として、これまでの利用回数が非常に少ないことが挙げられる。

《その他質問項目》

- ・新幹線開通に合わせたジオパーク観光の取り組みについて
- ・再生可能エネルギーについて
- ・ごみの減量について